

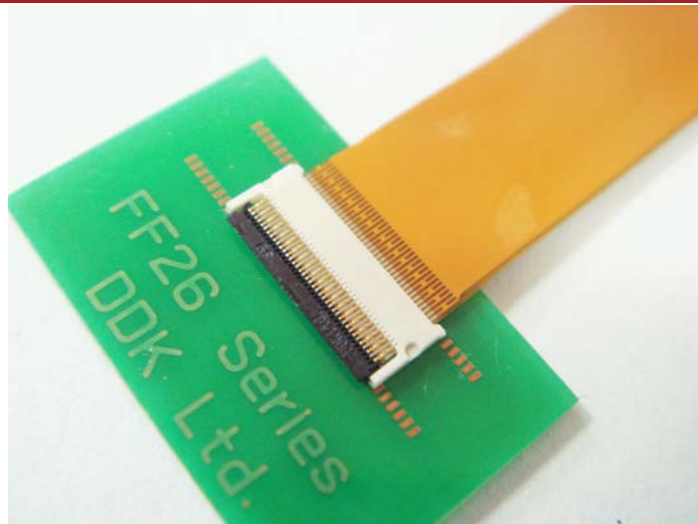
0.20 mm ピッチ超低背 FPC 用コネクタ

FF26 Series【上接点タイプ】

 Fujikura

概 要

FF26 シリーズは、0.2mm ピッチ、高さ 0.66mm 多芯対応の超低背 FPC コネクタです。



特 長

- ◆弊社独自のカム式バックロック採用により、確実な作業が行なえます。
- ◆コンタクト接点は、上接点です。
- ◆FPC を上方向に引張り上げても、ロックが開きません。
- ◆ニッケルバリアの採用により、はんだ上がりを防止しています。
- ◆ロック解除状態で納入の為、作業前にレバーを開く必要がありません。
- ◆ハロゲンフリー対応可能

注意 ※ FPC を挿入しない状態でロックレバーを閉じないで下さい。

用 途

携帯電話、ノート PC, PDA, 小型モバイル機器

仕 様

定格電圧	AC 50V (r.m.s.)
定格電流	0.2A / コンタクト
耐電圧	AC 200V(r.m.s.) / 1 分間
絶縁抵抗	DC 250V で 50 MΩ以上
接触抵抗	80m Ω以下

材 質 / 表面処理



部 品 名	材質/表面処理
コンタクト	銅合金 / Ni 下地 Au フラッシュめっき
ハウジング	LCP 樹脂 (UL94V-0) / 白色
レバー	PPS 樹脂 (UL94V-0) / 黒色

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

▶ 0.20mm ピッチ FPC コネクタ【上接点タイプ】

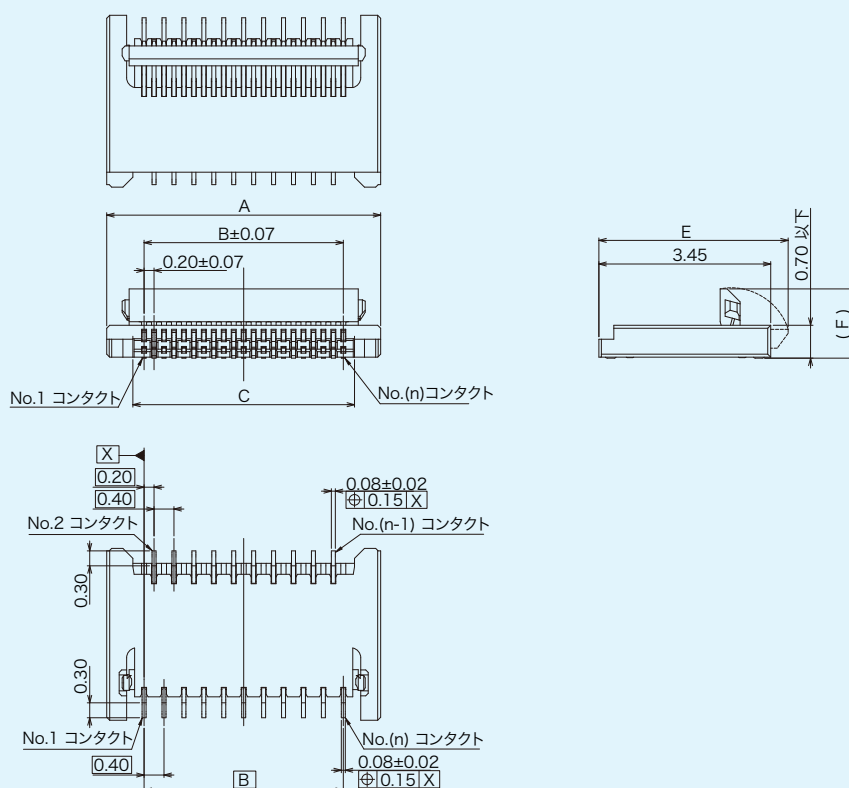
FF26- A-R11A-3J

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

①シリーズ名	FF26
②芯 数	表-1 参照
③接点形状	A：上接点、適合 FPC 厚：0.12±0.03mm
④コンタクトスタイル	R：ライトアングル
⑤コンタクトテール長さ	1：0.30mm
⑥コンタクト表面処理	1：Ni 下地 /Au（フラッシュ）めっき
⑦ロックレバー形状	A：標準タイプ B：ロングタイプ
⑧材料	3J：ハロゲンフリー、PFAS フリー対応

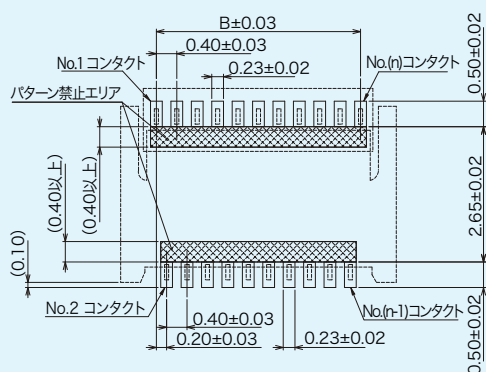
◆外形寸法

奇数芯数の場合

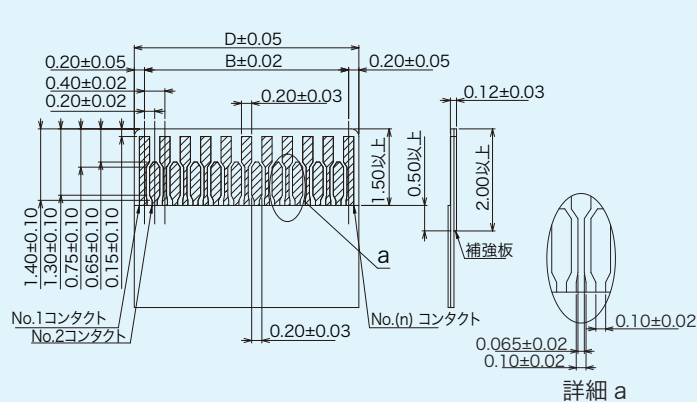


◆推奨基板取付寸法

No.1 端子を基準に千鳥に配列。



◆適合 FPC 寸法



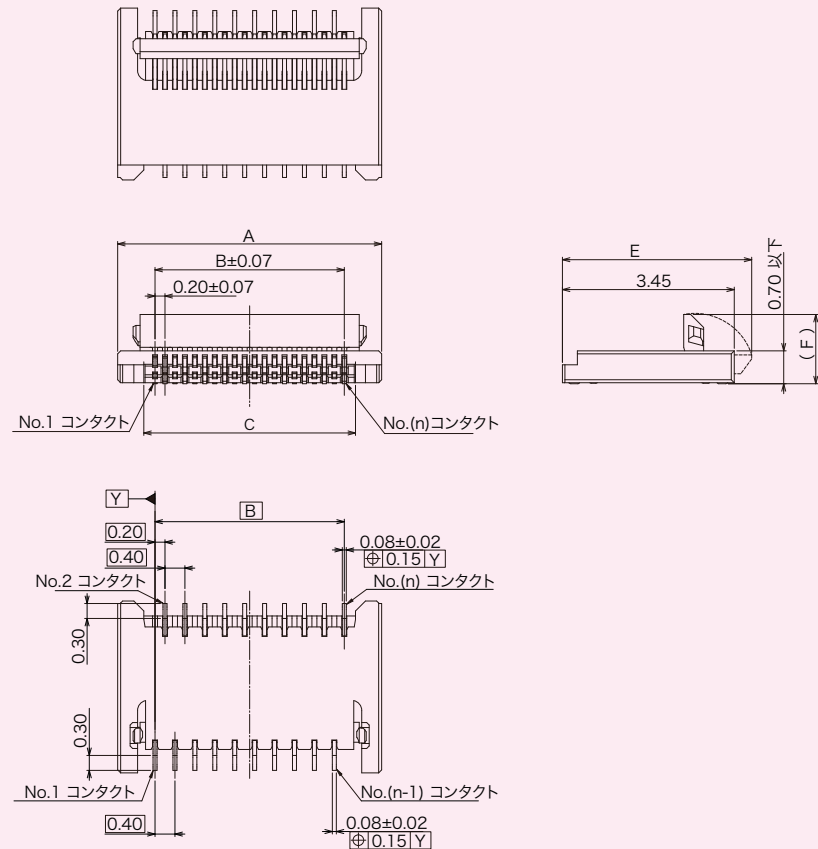
©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

▶ 0.20mm ピッチ FPC コネクタ【上接点タイプ】

◆外形寸法

偶数芯数の場合



◆推奨基板取付寸法

No.1 端子を基準に千鳥に配列。

◆適合 FPC 寸法

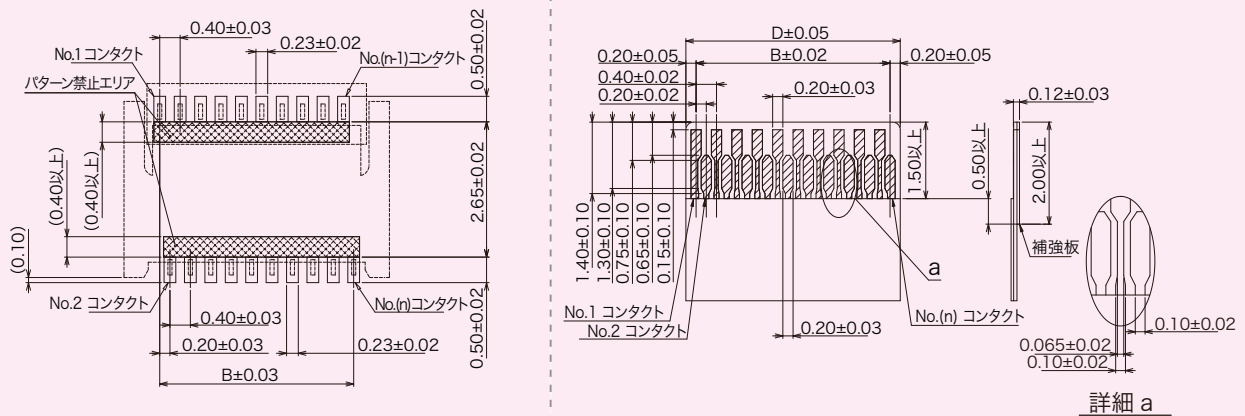


表-1

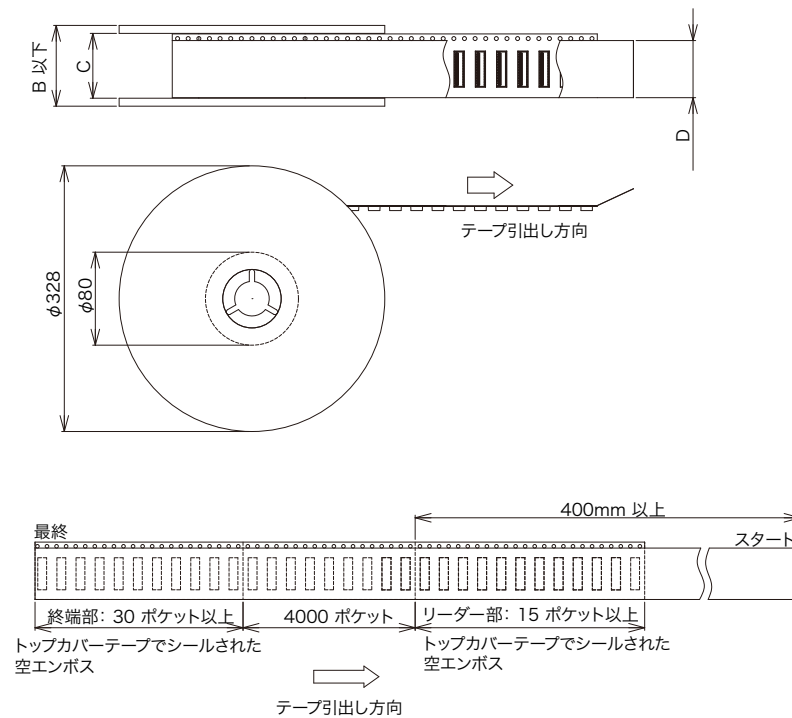
品 名	芯 数	A	B	C	D	E	F
FF26-39A-R11A-3J	39	9.10	7.60	8.05	8.00	3.80	(1.39)
FF26-80A-R11B-3J	80	17.30	15.80	16.25	16.20	4.00	(1.59)

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

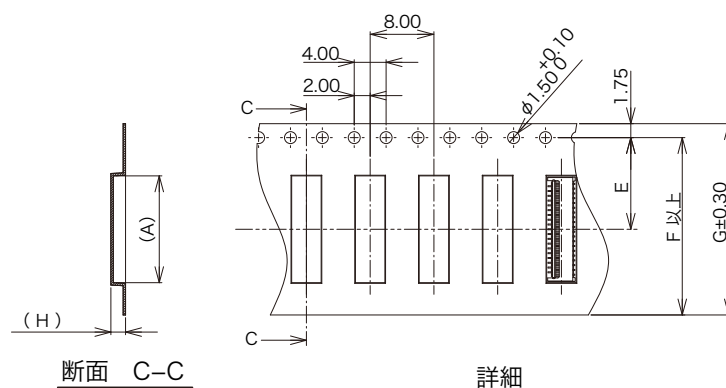
また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

梱包仕様

リール状態寸法図



エンボスカリヤテープ寸法図



品 名	芯 数	A	B	C	D	E	F	G	H
FF26-39A-R11A-3J	39	9.40	30.4	24.4	21.5	11.5	22.3	24.0	(1.84)
FF26-80A-R11B	80	17.6	38.4	32.4	25.5	14.2	28.4	32.0	(2.04)

梱包単位：4000 個 / リール

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

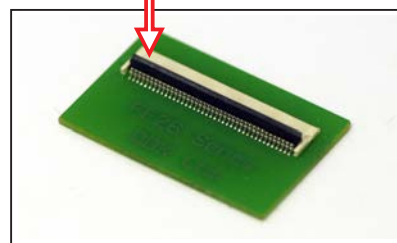
また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

▶ コネクタ操作方法と注意点

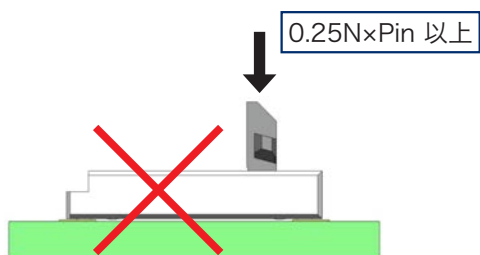
1. コネクタ実装状態

- ・ロックレバー開放状態での納入となりますので、FPCを挿入する前に、ロックを操作する必要はありません。(写真①)
- ・ロックを閉じた状態でリフロー実装をしないで下さい。
- ・FPC未挿入状態でロックレバーを閉じないでください。
FPC未挿入状態でロックレバーを閉じると、接点間ギャップが狭くなり、FPC挿入力が上昇します。
- ・ロックレバー真上から、荷重 ($0.25\text{N} \times \text{pin}$ 以上) をかけないで下さい。(図①)
又、反ロック方向に荷重 ($0.25\text{N} \times \text{pin}$ 以上) をかけないで下さい。(図②)
ロック破損、もしくは端子変形の原因となります。

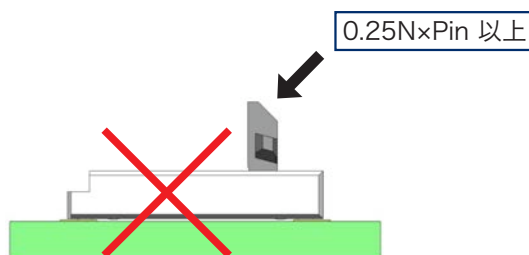
納入時のロックレバーは解放状態です



写真①

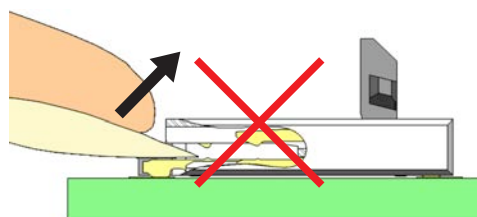


図①



図②

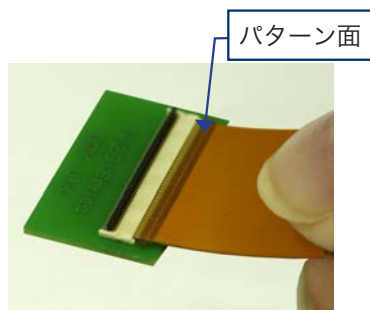
- ・コネクタのFPC挿入口に爪等を引掛けないでください。
コネクタ破損の原因となります。(図③)



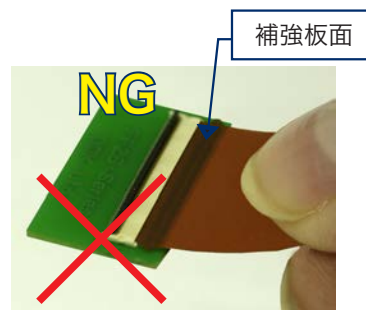
図③

2. FPC 挿入方法

- ・FPC導体面を写真②の方向にして、挿入します。(正：写真②、誤：写真③)
- ・FPCをコネクタに対して真っすぐに挿入して下さい。
FPC仮保持機構を採用している為、挿入に若干の力が必要です。
FPCがしっかり奥まで挿入出来ているか、確認してください。



写真②



写真③

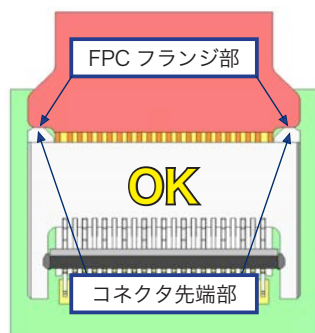
©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

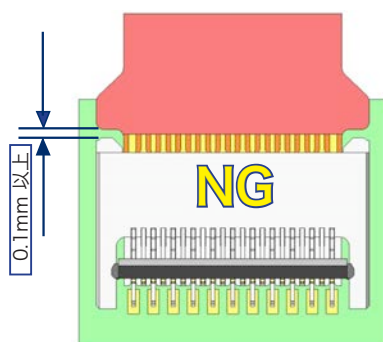
コネクタ操作方法と注意点

3. FPC 確認方法

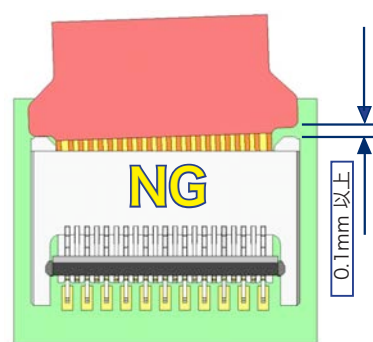
- ・ FPC フランジ部をコネクタ先端部に突き当てることにより、浅挿入・斜め挿入を確認・防止することが出来ます。(図④、図⑤、図⑥)



図④：正常挿入状態



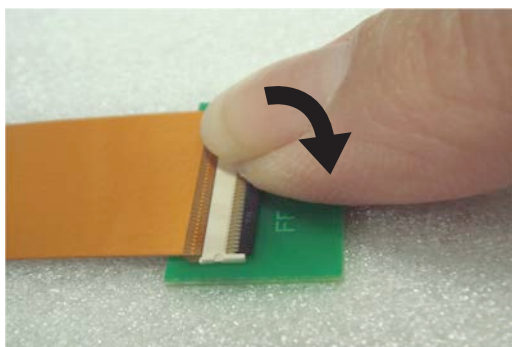
図⑤：浅め挿入状態



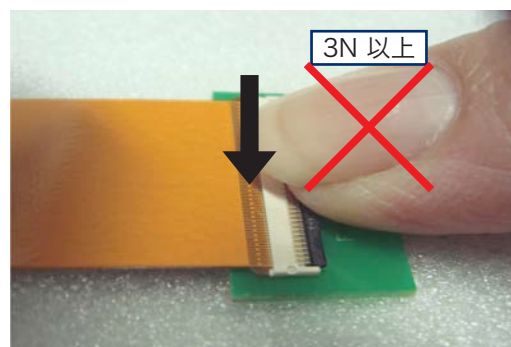
図⑥：斜め挿入状態

4. ロック方法

- ・ 回転させる要領で、ロックレバーを押し下げます。(写真④)
- ・ その際に、ハウジングに無理な力 (3N 以上) をかけないように注意して下さい。(写真⑤)

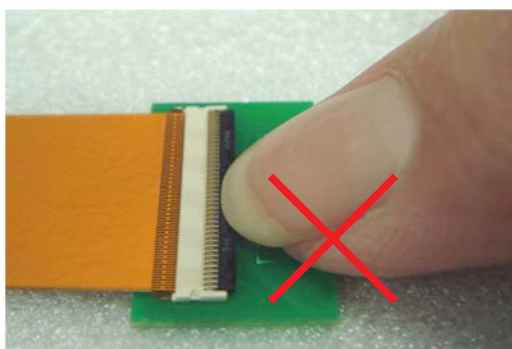


写真④

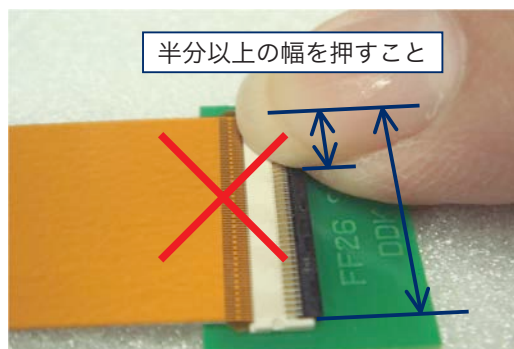


写真⑤

- ・ 爪の先端でロックしないでください。ロック破損の原因となります。(写真⑥)
- ・ ロックレバー端部をロックする場合は、少なくともロックレバー全幅の半分以上の幅を押して下さい。(写真⑦)



写真⑥



写真⑦

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

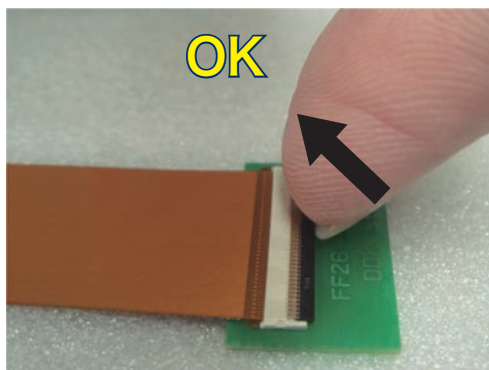
また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>

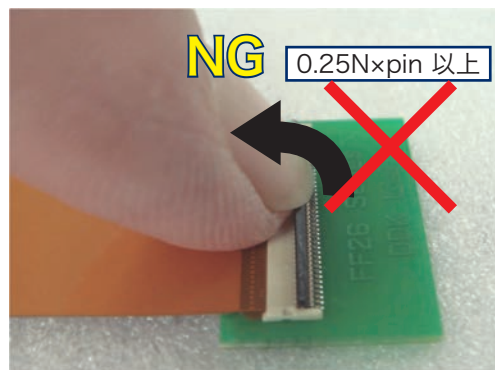
▶ コネクタ操作方法と注意点

5. FPC 抜去方法

- ・ ロックレバーを矢印方向に軽く跳ね上げる要領で、押し上げます。(写真⑧)
- ・ その際に、必要以上の力 ($0.25\text{N} \times \text{pin}$ 以上) をロックレバーにかけないように注意して下さい。(写真⑨)



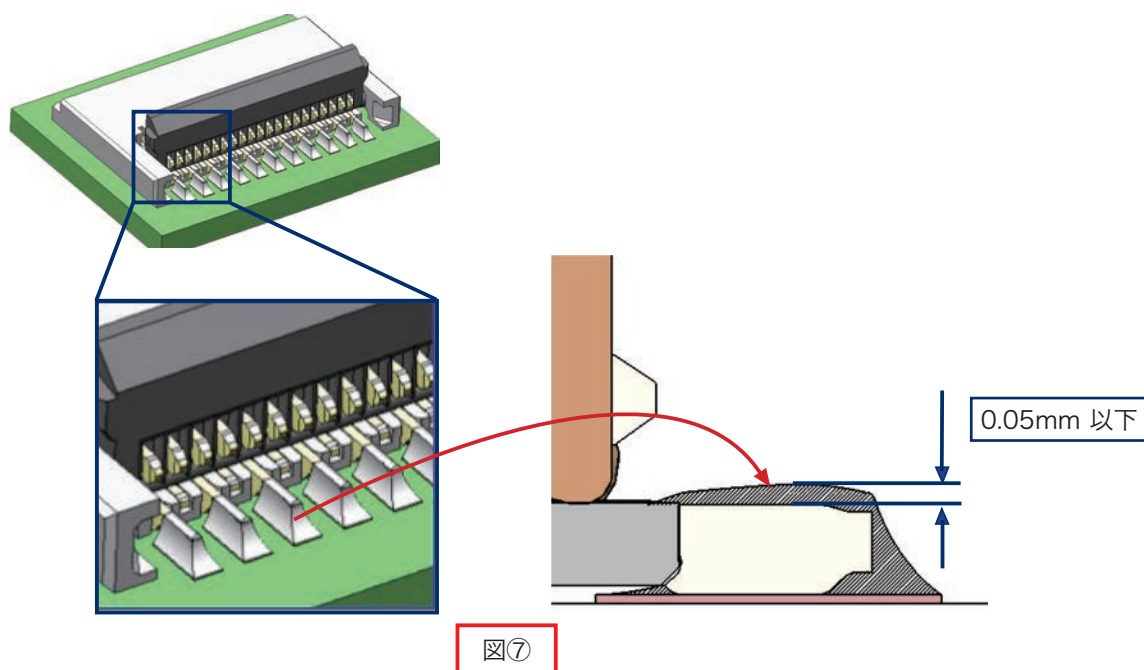
写真⑧



写真⑨

6. その他

- ・ 手はんだ実装時、過量のはんだを盛らないでください(端子上 0.05mm 以下)。(図⑦)



7. ESD(静電耐電圧)

本コネクタは、ESD 対策をしておりませんので、取扱時には注意して下さい。

8. コネクタ廃却方法

産業廃棄物として処理して下さい。

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。